

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

JC986 U.S. PTO
09/981294
10/16/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年10月20日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-321092

出 願 人

Applicant(s):

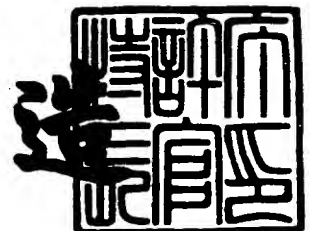
株式会社日本コンラックス

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 8月31日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 12049

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 2 号 株式会社日本コ
ンラックス内

【氏名】 太田 通博

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 2 号 株式会社日本コ
ンラックス内

【氏名】 吉田 裕昭

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 2 号 株式会社日本コ
ンラックス内

【氏名】 品田 裕昭

【特許出願人】

【識別番号】 000152859

【氏名又は名称】 株式会社日本コンラックス

【代理人】

【識別番号】 100071054

【弁理士】

【氏名又は名称】 木村 高久

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006460

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】	要約書	1
【プルーフの要否】	要	

【書類名】 明細書

【発明の名称】 プロモーション方法およびシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 商品の販売に際して所定のポイントに関連するポイント情報を利用者に提示し、前記利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともにセンタ装置へ送信し、前記センタ装置は、該送信されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理し、該利用者に対応して記憶管理されたポイントに基づき前記利用者に対して所定のサービスを提供するプロモーション方法において、

前記利用者に提示されるポイント情報に前記商品を識別する商品固有の商品コードを付加し、

前記センタ装置は、受信したポイント情報の中で特定の商品コードが含まれるポイント情報に対応するポイントを選択的に加工する

ことを特徴とするプロモーション方法。

【請求項 2】 前記商品の販売は、自動販売機により行われ、

前記商品コードは、前記自動販売機の商品が格納されるコラム番号に対応して前記ポイント情報に付加される

ことを特徴とする請求項 1 記載のプロモーション方法。

【請求項 3】 前記商品コードは、前記商品に記載された製造番号に対応して前記ポイント情報に付加される

ことを特徴とする請求項 1 記載のプロモーション方法。

【請求項 4】 前記商品コードは、前記商品に記載された該商品に関連するバーコードの情報に基づき前記ポイント情報に付加される

ことを特徴とする請求項 1 記載のプロモーション方法。

【請求項 5】 前記センタ装置は、受信したポイント情報に付加された商品コードと予め記憶した特定の商品コードとを比較し、両者が一致した場合に該商品コードが含まれるポイント情報に対応するポイントに所定のポイントを加算することを特徴とする請求項 1 記載のプロモーション方法。

【請求項 6】 前記利用者に提示されるポイント情報に前記商品を識別する

商品固有の商品コードと該商品が販売された日付情報を付加し、

前記センタ装置は、前記ポイント情報に付加された商品コードが予め設定された商品コードに一致し、かつ、前記ポイント情報に付加された日付情報が予め設定された期間内である場合に、該商品コードが含まれるポイント情報に対応するポイントに所定のポイントを加算する

ことを特徴とする請求項 1 記載のプロモーション方法。

【請求項 7】 商品の販売に際して所定のポイントに関連するポイント情報を利用者に提示し、前記利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともにセンタ装置へ送信し、前記センタ装置は、該送信されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理し、該利用者に対応して記憶管理されたポイントに基づき前記利用者に対して所定のサービスを提供するプロモーションシステムにおいて、

前記利用者に対して販売する商品を識別する商品固有の商品コードを付加したポイント情報を発行するポイント情報発行手段と、

前記センタ装置に設けられ、受信したポイント情報の中で特定の商品コードが含まれるポイント情報に対応するポイントを選択的に加工するポイント加工手段と

を具備することを特徴とするプロモーションシステム。

【請求項 8】 前記商品の販売は、自動販売機により行われ、

前記ポイント情報発行手段は、前記自動販売機の商品が格納されるコラム番号に対応して前記商品コードを前記ポイント情報に付加して発行する

ことを特徴とする請求項 7 記載のプロモーションシステム。

【請求項 9】 前記ポイント情報発行手段は、前記商品に記載された製造番号に対応して前記商品コードを前記ポイント情報に付加して発行する

ことを特徴とする請求項 7 記載のプロモーションシステム。

【請求項 10】 前記ポイント情報発行手段は、前記商品に記載された該商品に関連するバーコードの情報に基づき前記商品コードを前記ポイント情報に付加して発行する

ことを特徴とする請求項 7 記載のプロモーションシステム。

【請求項 1 1】 前記ポイント加工手段は、

受信したポイント情報に付加された商品コードと予め記憶した特定の商品コードとを比較し、両者が一致した場合に該商品コードが含まれるポイント情報に対応するポイントに所定のポイントを加算する

ことを特徴とする請求項 7 記載のプロモーションシステム。

【請求項 1 2】 前記ポイント情報発行手段は、

前記商品を識別する商品固有の商品コードおよび該商品が販売された日付情報を付加したポイント情報を前記利用者に発行し、

前記ポイント加工手段は、

前記ポイント情報に付加された商品コードが予め設定された商品コードに一致し、かつ、前記ポイント情報に付加された日付情報が予め設定された期間内である場合に、該商品コードが含まれるポイント情報に対応するポイントに所定のポイントを加算する

ことを特徴とする請求項 7 記載のプロモーションシステム。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明は、商品の販売に伴ってポイントを発行することで特定の商品の重点的販売促進を行うプロモーション方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、特定商品のプロモーション等において、商品の販売毎にポイントを発行し、当該商品の購入者がポイントを収集して景品等と交換するといったことが行われている。

【0 0 0 3】

ここで、ポイントの発行は、各購入者が所有するカードにスタンプを押印したり磁気的な記録を行うものや、商品にシール等を貼付しておき、購入者がこのシールを収集する形式のものがある。

【0 0 0 4】

しかし、商品にシール等を貼付してポイントを発行する形式のものでは、販売者と購入者の両者ともにポイントの処理に多大な手間を要しており、各購入者が所有するカードに対してポイントを加算していく形式のものでは、特に自動販売機でのポイント発行が困難であるとともに、当該商品の製造者の主催で行う全国規模のプロモーションへの対応も困難であった。

【 0 0 0 5 】

また、いずれの場合においても、プロモーションの主催者側によるポイントの回収および集計の作業にも多大な手間を要していた。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

これらの問題を解決するため、本発明者は、商品の販売に際してポイントを暗号化したポイント情報を商品購入者に提示し、購入者は提示されたポイント情報を携帯電話、パソコン等の通信機器によってセンタ装置へ送信するだけで、センタ装置においてポイント情報が解読されてポイントが加算され、販売者は加算されたポイントに応じたサービスを提供する形式のプロモーション方法を特願平 1 1 - 2 8 0 0 3 4 号および特願 2 0 0 0 - 2 1 0 2 1 7 号として提案した。

【 0 0 0 7 】

しかしながら、上記のプロモーション方法では、特定の商品のプロモーションを特定の期間だけ他の商品と差別化して行なうことはできない。

【 0 0 0 8 】

つまり、例えば、ある期間中、ある商品のプロモーションを重点的に行ないたいといった場合、この期間中この商品のポイント数を 2 倍にする等の、きめの細かいプロモーションを展開することはできなかった。

【 0 0 0 9 】

すなわち、上記従来の方法では、商品のポイントを変更するには自動販売機単位でポイントの設定を変更しなければならず、期間限定で上記のような特定の商品のプロモーションを行なうには、当該商品を販売する全ての自動販売機の設定を一斉に変更しなければならない。

【 0 0 1 0 】

そこで、この発明は、対象となる自動販売機の設定を一斉に変更する必要なく、商品単位の発行ポイント数、プロモーション期間等の設定の変更を容易に行なえるようにしてきめの細かいプロモーションを実現できるようにしたプロモーション方法およびシステムを提供することを目的とする。

【 0 0 1 1 】

【課題を解決するための手段】

上述した目的を達成するため、この発明のプロモーション方法は、商品の販売に際して所定のポイントに関連するポイント情報を利用者に提示し、前記利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともにセンタ装置へ送信し、前記センタ装置は、該送信されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理し、該利用者に対応して記憶管理されたポイントに基づき前記利用者に対して所定のサービスを提供するプロモーション方法において、前記利用者に提示されるポイント情報に前記商品を識別する商品固有の商品コードを付加し、前記センタ装置は、受信したポイント情報の中で特定の商品コードが含まれるポイント情報に対応するポイントを選択的に加工することを特徴とする。

ここで、前記商品の販売は、自動販売機により行われ、前記商品コードは、前記自動販売機の商品が格納されるコラム番号に対応して前記ポイント情報に付加されることを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

また、前記商品コードは、前記商品に記載された製造番号に対応して前記ポイント情報に付加されることを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

また、前記商品コードは、前記商品に記載された該商品に関連するバーコードの情報に基づき前記ポイント情報に付加されることを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

また、前記センタ装置は、受信したポイント情報に付加された商品コードと予め記憶した特定の商品コードとを比較し、両者が一致した場合に該商品コードが含まれるポイント情報に対応するポイントに所定のポイントを加算することを特

徴とする。

【0015】

また、前記利用者に提示されるポイント情報に前記商品を識別する商品固有の商品コードと該商品が販売された日付情報を付加し、前記センタ装置は、前記ポイント情報に付加された商品コードが予め設定された商品コードに一致し、かつ、前記ポイント情報に付加された日付情報が予め設定された期間内である場合に、該商品コードが含まれるポイント情報に対応するポイントに所定のポイントを加算することを特徴とする。

【0016】

また、この発明のプロモーションシステムは、商品の販売に際して所定のポイントに関連するポイント情報を利用者に提示し、前記利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともにセンタ装置へ送信し、前記センタ装置は、該送信されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理し、該利用者に対応して記憶管理されたポイントに基づき前記利用者に対して所定のサービスを提供するプロモーションシステムにおいて、前記利用者に対して販売する商品を識別する商品固有の商品コードを付加したポイント情報を発行するポイント情報発行手段と、前記センタ装置に設けられ、受信したポイント情報の中で特定の商品コードが含まれるポイント情報に対応するポイントを選択的に加工するポイント加工手段とを具備することを特徴とする。

ここで、前記商品の販売は、自動販売機により行われ、前記ポイント情報発行手段は、前記自動販売機の商品が格納されるコラム番号に対応して前記商品コードを前記ポイント情報に付加して発行することを特徴とする。

【0017】

また、前記ポイント情報発行手段は、前記商品に記載された製造番号に対応して前記商品コードを前記ポイント情報に付加して発行することを特徴とする。

【0018】

前記ポイント情報発行手段は、前記商品に記載された該商品に関連するバーコードの情報に基づき前記商品コードを前記ポイント情報に付加して発行することを特徴とする。

【 0 0 1 9 】

また、前記ポイント加工手段は、受信したポイント情報に付加された商品コードと予め記憶した特定の商品コードとを比較し、両者が一致した場合に該商品コードが含まれるポイント情報に対応するポイントに所定のポイントを加算することを特徴とする。

【 0 0 2 0 】

また、前記ポイント情報発行手段は、前記商品を識別する商品固有の商品コードおよび該商品が販売された日付情報を付加したポイント情報を前記利用者に発行し、前記ポイント加工手段は、前記ポイント情報に付加された商品コードが予め設定された商品コードに一致し、かつ、前記ポイント情報に付加された日付情報が予め設定された期間内である場合に、該商品コードが含まれるポイント情報に対応するポイントに所定のポイントを加算することを特徴とする。

【 0 0 2 1 】

【発明の実施の形態】

以下、この発明に係わるプロモーション方法の実施の形態を添付図面を参照して詳細に説明する。

【 0 0 2 2 】

図 1 は、この発明に係わるプロモーションシステムの一構成例を示すシステム構成図である。

【 0 0 2 3 】

図 1 において、このプロモーションシステムは、屋外または屋内に配置される複数の自動販売機 1 1 0 および各種店舗に配設されるレジスタ 1 2 0 で販売される商品をポイント発行の対象としている。

【 0 0 2 4 】

すなわち、このプロモーションシステムは、自動販売機 1 1 0 の販売商品に対する販売促進およびレジスタ 1 2 0 が配設されている店舗の各種商品の販売促進を可能にするものである。

【 0 0 2 5 】

自動販売機 1 1 0 のポイント発行装置 1 1 1 は、この自動販売機 1 1 0 で商品

の販売がある毎に、該販売された商品の販売金額、販売数量等に対応するポイント情報を生成し、このポイント情報ポイント発行装置 111 に設けられた図示しない表示部に表示する。

【0026】

また、レジスタ 120 のポイント発行装置 121 も同様に、このレジスタ 120 での販売処理がある毎に、その販売金額、販売数量等に対応するポイント情報を生成し、このポイント情報をポイント発行装置 121 に設けられた図示しない表示部に表示する。

【0027】

また、独立のポイント発行装置 1000 も同様に、所定の販売処理がある毎に、その販売金額、販売数量等に対応するポイント情報を生成し、このポイント情報をポイント発行装置 1000 に設けられた図示しない表示部に表示する。

【0028】

なお、上記ポイント情報には、

- 1) モジュールコード
- 2) シークレットコード
- 3) 商品コード

が含まれる。

【0029】

ここで、モジュールコードは、上記ポイント発行装置 111、121 等を識別するもので、このプロモーションシステムにおいては、このモジュールコードに対応して自動販売機 110 およびレジスタ 120 等の状態をデータセンタ 153 のベンダデータベース（ベンダDB）162 で記憶管理するように構成されている。

【0030】

また、シークレットコードには、

- 1) ポイント発行番号
- 2) ポイント数
- 3) パリティ

等が含まれる。

【 0 0 3 1 】

ここで、ポイント発行番号は、ポイント発行装置 1 1 1、1 2 1 等からポイントが発行される毎にそれぞれ発行される連続番号で、ポイント情報の二重使用のチェックおよび不正使用のチェックを行なうために利用される。

【 0 0 3 2 】

また、ポイント数は、販売毎に利用者が取得するポイント数であり、また、パリティは、利用者から送信されるポイント情報が暗号化、復号化プロセスを含む伝送途中で誤りや改竄がないことをチェックするための付加情報である。

【 0 0 3 3 】

これらの情報を予め記憶された暗号鍵により暗号化することによりシークレットコードは生成される。

【 0 0 3 4 】

また、商品コードは、各商品に固有のもので、販売された商品をデータセンタ 1 5 3 で識別するために用いる情報である。

【 0 0 3 5 】

なお、この商品コードは、上記モジュールコード若しくはシークレットコードの何れかに含ませても良い。

【 0 0 3 6 】

さて、このプロモーションシステムの利用者は、ポイント発行装置 1 1 1 および 1 2 1 の表示部に表示されたポイント情報を読み取って記憶し、この記憶したポイント情報を携帯電話機 1 3 0 若しくはパーソナルコンピュータ（以下、パソコンという）1 4 0 に入力して、当該利用者を識別する I D（識別情報）と所定のパスワードとともにデータセンタ 1 5 3 に送信する。

【 0 0 3 7 】

なお、ポイント発行装置 1 1 1 および 1 2 1 に赤外線通信装置を内蔵させ、この赤外線通信装置を用いて上記ポイント情報の上記携帯電話機 1 3 0 等への入力を行なってもよい。

【 0 0 3 8 】

また、ポイント発行装置 1 1 1 および 1 2 1 に上記ポイント情報を印字出力する手段を設けてもよい。

【 0 0 3 9 】

また、レジスタ 1 2 0 のポイント発行装置 1 2 1 は、このレジスタ 1 2 0 から印字出力されるレシートに、このポイント発行装置 1 2 1 で生成されたポイント情報を印字出力するように構成してもよい。

【 0 0 4 0 】

データセンタ 1 5 3 は、インターネット 1 5 0 上の Web サーバとして構築され、利用者の取得したポイントを利用者 ID に対応して記憶管理するポイントデータベース（ポイント DB） 1 6 1、上記モジュールコードに対応して自動販売機 1 1 0 およびレジスタ 1 2 0 の状態等を記憶管理するベンダデータベース（ベンダ DB） 1 6 2、利用者の個別情報を記憶管理する利用者データベース（利用者 DB） 1 6 3 が設けられている。

【 0 0 4 1 】

このデータセンタ 1 5 3 に対する利用者の携帯する携帯電話機 1 3 0 からのポイント情報の送信は、携帯電話機 1 3 0、移動体通信事業者 1 5 1、インターネット 1 5 0 を介して行われる。

【 0 0 4 2 】

また、このデータセンタ 1 5 3 に対する利用者のパソコン 1 4 0 からのポイント情報の送信は、パソコン 1 4 0、利用者のアクセスプロバイダ 1 5 2、インターネット 1 5 0 を介して行われる。

【 0 0 4 3 】

データセンタ 1 5 3 は、利用者の携帯電話機 1 3 0 若しくはパソコン 1 4 0 からポイント情報を受信すると、まず、利用者データベース 1 6 3 を参照して利用者 ID およびパスワードのチェックを行う。

【 0 0 4 4 】

次に、ベンダデータベース 1 6 2 を参照して、モジュールコードのチェックを行う。

【 0 0 4 5 】

次に、シークレットコードを復号化して、パリティのチェック、ポイント発行番号のチェック、ポイント数のチェック、商品コードのチェックを行い、このチェック結果に基づきポイントデータベース161を更新する。

【0046】

また、このデータセンタ153は、

- 1) 利用者データベース163の登録、更新に基づく利用者の管理
- 2) ポイントデータベース161に基づくポイントの管理
- 3) ベンダデータベース162の登録、更新に基づくポイント発行装置の管理
- 4) ポイントデータベース161に記憶されたポイントに基づく各種抽選および当選者の管理
- 5) 自動販売機110の管理者およびレジスタ120の配設された店舗等に対するマーケティング情報の提供
- 6) 自動販売機110の売上情報、商品および釣銭、故障等の管理等を行う。

【0047】

また、上記インターネット150上には上記ポイントに関するデータセンタ153の決済の代行を行うネットバンク154、自動販売機110の管理者およびレジスタ120の配設された店舗等に対するマーケティング情報の提供のためにデータセンタ153に代わってホームページを配信するホスティングプロバイダ155等が設けられている。

【0048】

ここで、このプロモーションシステムをさらにわかりやすく説明するため、自動販売機110におけるポイント発行処理について説明する。

【0049】

まず、自動販売機110の構成について説明する。

図2は、自動販売機110の構成を示すブロック図である。

【0050】

図2に示すように、自動販売機110は、主制御部11、キーボード端末部14、硬貨処理部15、紙幣処理部16、商品搬送部17、コラム18（18-1

乃至 1 8 - n) を具備して構成され、さらに、ポイント情報生成部 1 2 およびポイント情報表示部 1 3 から成るポイント発行装置 1 1 1 を内蔵している。

【 0 0 5 1 】

主制御部 1 1 は、各部を制御して商品の販売やポイントの発行を制御する。ポイント情報生成部 1 2 は、主制御部 1 1 からの制御信号に基づいてポイント情報を生成し、このポイント情報生成部 1 2 が生成したポイント情報は、ポイント情報表示部 1 3 で可視情報（文字列等）として表示される。

【 0 0 5 2 】

キーボード端末部 1 4 は、販売する商品の価格等の各種設定を行うものである。硬貨処理部 1 5 は、商品の対価となる硬貨の受入や釣り銭の返却を行い、紙幣処理部 1 6 は、紙幣の受入等の処理を行う。商品搬送部 1 7 は、主制御部 1 1 の制御信号に基づいて商品の排出処理を行い、コラム 1 8 に格納されている商品の排出を制御する。コラム 1 8 は、各々商品を格納している。

【 0 0 5 3 】

ポイント発行処理は、ポイント情報生成部 1 2 が主制御部 1 1 からの制御信号に基づいてポイント情報を生成し、このポイント情報をポイント情報表示部 1 3 に表示することで行われる。

【 0 0 5 4 】

主制御部 1 1 は、商品の購入があった際にポイントの発行をポイント情報生成部 1 2 に指示するが、この指示は、コラム 1 8 毎、つまり、販売する商品毎に行うか否かを設定しておくことができる。

【 0 0 5 5 】

また、主制御部 1 1 は、複数の商品が購入された際に、その購入数に応じたポイントを発行するようにポイント情報生成部 1 2 に指示を出すように設定することもできる。

【 0 0 5 6 】

さらに、主制御部 1 1 は、コラム 1 8 に格納されている各々の商品の商品コードをコラム 1 8 のコラム番号に対応して記憶しており、この商品コードは、商品補充時に作業員がキーボード端末 1 4 を操作することによって設定される。

【 0 0 5 7 】

なお、商品コードは、自動販売機にバーコードリーダを設け、購入者が購入商品に記載されたバーコードをこのバーコードリーダに読み取らせ、読み取ったバーコードの情報に基づいて、商品コードを取得するようにしても良い。

【 0 0 5 8 】

図 3 は、ポイント情報の詳細を説明するための図である。

【 0 0 5 9 】

図 3 に示すように、上記ポイント情報は、当該ポイントシステムに固有の情報（システムコード等） A と、発行したポイントに固有の情報（ポイント発行番号等） B と、自動販売機 1 1 0 が販売している各商品に固有の情報（商品コード等） C とを所定の暗号鍵に基づいて暗号化してポイント情報 D を生成し、これをポイント情報表示部 1 3 に可視化して表示する。

【 0 0 6 0 】

その後、購入者がこの表示されたポイント情報 D を携帯電話機 1 3 0 若しくはパソコン 1 4 0 によりデータセンタに送信する。

【 0 0 6 1 】

ポイント情報 D'（真正ならばポイント情報 D と同一のもの）を受信したデータセンタ 1 5 3 では、所定の復号鍵を用いて、情報 A' と情報 B' と情報 C' とを取得する。

【 0 0 6 2 】

次に、情報 A' と予めデータセンタ 1 5 3 に記憶してある当該システムに固有の情報（システムコード等） A とを比較することにより当該ポイント情報の真偽を確認する（真偽判定）。

【 0 0 6 3 】

さらに、情報 B' をデータセンタ 1 5 3 で管理しているポイント発行番号データベースから検索して未使用か否かを確認することになる（二重使用判定）。

【 0 0 6 4 】

そして、データセンタ 1 5 3 は、特に重点的に販売促進したい商品の商品コードを記憶した当該データセンタ 1 5 3 の特定商品コード記憶領域を検索し、この

特定商品コード記憶領域に情報C'と一致する商品コードがあった場合、情報B'から得られるポイント数に、さらに所定のポイント数を加算する。

【0065】

次に、携帯電話機2によるポイント情報の送信とセンタ装置3での処理について説明する。

【0066】

図4は、データセンタ153の詳細構成を示すブロック図である。

【0067】

図4に示すように、データセンタ153は、ネットワーク処理部31、データ処理部32、音声処理部33、ポイント確認部34、ポイント処理部35、ポイント記憶部36、特定商品コード記憶部37を具備して構成される。

【0068】

ネットワーク処理部31は、インターネット等のネットワークに接続され、図示しないメールサーバやウェブサーバからポイント情報を取得する。

【0069】

このネットワーク処理部31は、ポイント情報が電子メールや所定のホームページから送信された場合、つまり、インターネットに対応した携帯電話機130やパソコン140からポイント情報が送信された場合に動作する。

【0070】

データ処理部32は、携帯電話機130に特有のメールやデータ転送方法により送信されてきたポイント情報を取得する。つまり、データ処理部32は特有のデータ転送機能を有する携帯電話機130からポイント情報が送信された場合に動作する。

【0071】

音声処理部33は、購入者の声やプッシュボタン等の音声により送信されたポイント情報を取得する。つまり、音声処理部33は、携帯電話機130や一般の電話機から音声としてポイント情報が送信された場合に動作する。

【0072】

ポイント確認部34は、上述した方法等により、受信したポイント情報の真偽

を確認し、真と確認された場合には、さらに当該ポイント情報が未使用のものであるか否かを確認する。これは、購入者の不注意や悪意により同一のポイント情報が複数回送信された場合のための処理である。

【0073】

ポイント処理部35は、ポイント確認部34で、真正で、かつ、未使用であると確認されたポイント情報を、その送信者（購入者）別に管理し、ポイント記憶部36に記憶されているポイント数に、受信したポイント情報のポイント数を加算する。さらに、ポイント処理部35は、受信したポイント情報に含まれる商品コードが、特定商品コード記憶部37に記憶されている商品コードと一致した場合、受信した当該ポイント情報に対応するポイント数に所定のポイント数を加算し、この加算処理されたポイント数を、ポイント記憶部36に記憶されているポイント数に加算する。

【0074】

特定商品コード記憶部37は、特定の商品コードと、この特定の商品コードに対応するポイント情報のポイント数に加算するポイント数が記憶されている。

【0075】

なお、ネットワーク処理部31とデータ処理部32、音声処理部33は、必ずしも全て配設する必要は無く、ポイント情報の送信方法に制限をかけた場合には、一部を省くことができる。例えば、ポイント情報をインターネット接続できる携帯電話機130からのみ送信できるものとすれば、データ処理部32と音声処理部33を省略することができる。

【0076】

次に、図5を参照してデータセンタ153の動作について説明する。

図5は、上記ポイント情報を受信したデータセンタ153の動作の流れを示すフローチャートである。

【0077】

図5において、データセンタ153は、ネットワーク処理部31とデータ処理部32、音声処理部33のいずれかでポイント情報を取得すると、ポイント確認部34がポイント記憶部36を参照して、ポイント情報とともに受信した登録名

(ポイント情報の送信者の名前で任意に登録されたもの) が実在しているか否かを判定し (ステップ 1 0 1)、実在していれば (ステップ 1 0 1 で YES)、当該ポイント情報が真正なものであるか否かを確認する (ステップ 1 0 2)。

【 0 0 7 8 】

そして、その確認の結果、ポイント情報が真正なものであれば (ステップ 1 0 2 で YES)、さらに、当該ポイントが未使用なものであるか否かを確認する (ステップ 1 0 3)。

【 0 0 7 9 】

また、確認の結果、当該ポイント情報が未使用のものであれば (ステップ 1 0 3 で YES)、当該ポイント情報に含まれる商品コードが特定商品コード記憶部 3 7 に記憶されているか否かを確認し (ステップ 1 0 4)、記憶されていれば (ステップ 1 0 4 で YES)、ポイント処理部 3 5 は、当該ポイント情報のポイント数に所定のポイント数を加算して (ステップ 1 0 5)、この加算処理したポイント数をポイント記憶部 3 6 に記憶されている当該登録名のポイント数に加算して処理を終了する。

【 0 0 8 0 】

また、特定商品コード記憶部 3 7 に商品コードが記憶されていなければ (ステップ 1 0 4 で NO)、ポイント処理部 3 5 は、受信したポイント情報に基づいたポイント数をそのままポイント記憶部 3 6 に記憶されている該当登録名のポイント数に加算して (ステップ 1 0 6)、処理を終了する。

【 0 0 8 1 】

一方、登録名が実在しないものであった場合や (ステップ 1 0 1 で NO)、ポイントが偽造であった場合 (ステップ 1 0 2 で NO)、ポイントが複数回目の使用であった場合には (ステップ 1 0 3 で NO)、異常処理としてポイント数の加算を行わずに (ステップ 1 0 7)、処理を終了する。

【 0 0 8 2 】

なお、異常処理では、単にポイントを加算しないだけでなく、該当する登録名での異常処理回数を累積し、所定回以上の異常処理が生じた場合には、当該登録を抹消したりすることも可能である。また、登録名が実在しなかった場合に、新

たに登録を受け付けて、その後ステップ102以降の処理を実行するようにしてもよい。

【0083】

図6は、図1に示したポイント発行装置（ポイント発行装置111または121）の処理の詳細を示すフローチャートである。

【0084】

図6において、ポイント発行装置は、まず、自動販売機110若しくはレジスタ120からポイント発行指示があるかを調べる（ステップ201）。ここで、ポイント発行指示が無いと判断されると、ステップ201へ戻り、ポイント発行指示を持つ。

【0085】

ステップ201で、自動販売機110若しくはレジスタ120からポイント発行指示があると（ステップ201でYES）、次に、このポイント発行指示のポイント数は有効かを調べる（ステップ202）。ここで、無効と判断されると（ステップ202でNO）、ステップ202へ戻るが、有効と判断されると（ステップ202でYES）、まず、ポイント発行番号を生成する（ステップ203）。このポイント発行番号の生成は、前回発行したポイント発行番号に1を加えることにより行われる。

【0086】

次に、パリティを生成する（ステップ204）。このパリティの生成は、例えば、ステップ203で生成したポイント発行番号と、ステップ202で有効と判別したポイント数との情報をnビット毎に区切って加算し、この値をmで除算した余りを求めることにより行われる。

【0087】

さらに、自動販売機110若しくはレジスタ120で販売された商品の商品コードを取得する。

【0088】

そして、シークレットコードを生成する（ステップ205）。このシークレットコードの生成は、上記ポイント発行番号、ポイント数、パリティ、商品コード

を予め記憶した暗号鍵で暗号化することにより行われる。

【 0 0 8 9 】

このようにして生成されたシークレットコードは、このポイント発行装置のモジュールコードとともにポイント情報としてこのポイント発行装置の表示部（ディスプレイ）に表示され（ステップ 2 0 6）、同様に、レシートに印字される（ステップ 2 0 7）。

【 0 0 9 0 】

次に、ディスプレイのポイント情報の提示を制限するためのタイマをリセットし（ステップ 2 0 8）、このポイント発行装置に上記ポイント情報を出力するための赤外線デバイスがあるかを調べる（ステップ 2 0 9）。

【 0 0 9 1 】

ここで、赤外線デバイスがあると判断されると（ステップ 2 0 9 で YES）、上記ポイント情報（コード）を赤外線で出力する（ステップ 2 1 0）。

【 0 0 9 2 】

そして、次に、タイマがタイムアウトしたかを調べ（ステップ 2 1 1）、タイムアウトしていない場合は（ステップ 2 1 1 で NO）、ステップ 2 0 9 へ戻るが、タイムアウトしたと判断されると（ステップ 2 1 1 で YES）、ディスプレイの表示を消去し（ステップ 2 1 2）、この処理を終了する。

【 0 0 9 3 】

【発明の効果】

以上説明したように、この発明によれば、商品固有の商品コードをポイント情報に付加し、データセンタは、当該商品コードに対応して記憶している加工方法に基づいて当該ポイント情報のポイント数に所定のポイント数を加算する等の処理を加えるため、特定の商品のポイント数のある特定の期間だけ 2 倍にする等の商品単位のポイント設定の変更をデータセンタ側で行なえるため、柔軟なプロモーションを展開できるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明に係るプロモーションシステムの一構成例を示すシステム構成図であ

る。

【図 2】

図 1 に示した自動販売機の構成を示すブロック図である。

【図 3】

図 1 に示したプロモーションシステムにおけるポイント情報を説明するための図である。

【図 4】

図 1 に示したデータセンタの構成を示すブロック図である。

【図 5】

図 1 に示したデータセンタの動作の流れを示すフローチャートである。

【図 6】

図 1 に示したポイント発行装置の処理の詳細を示すフローチャートである。

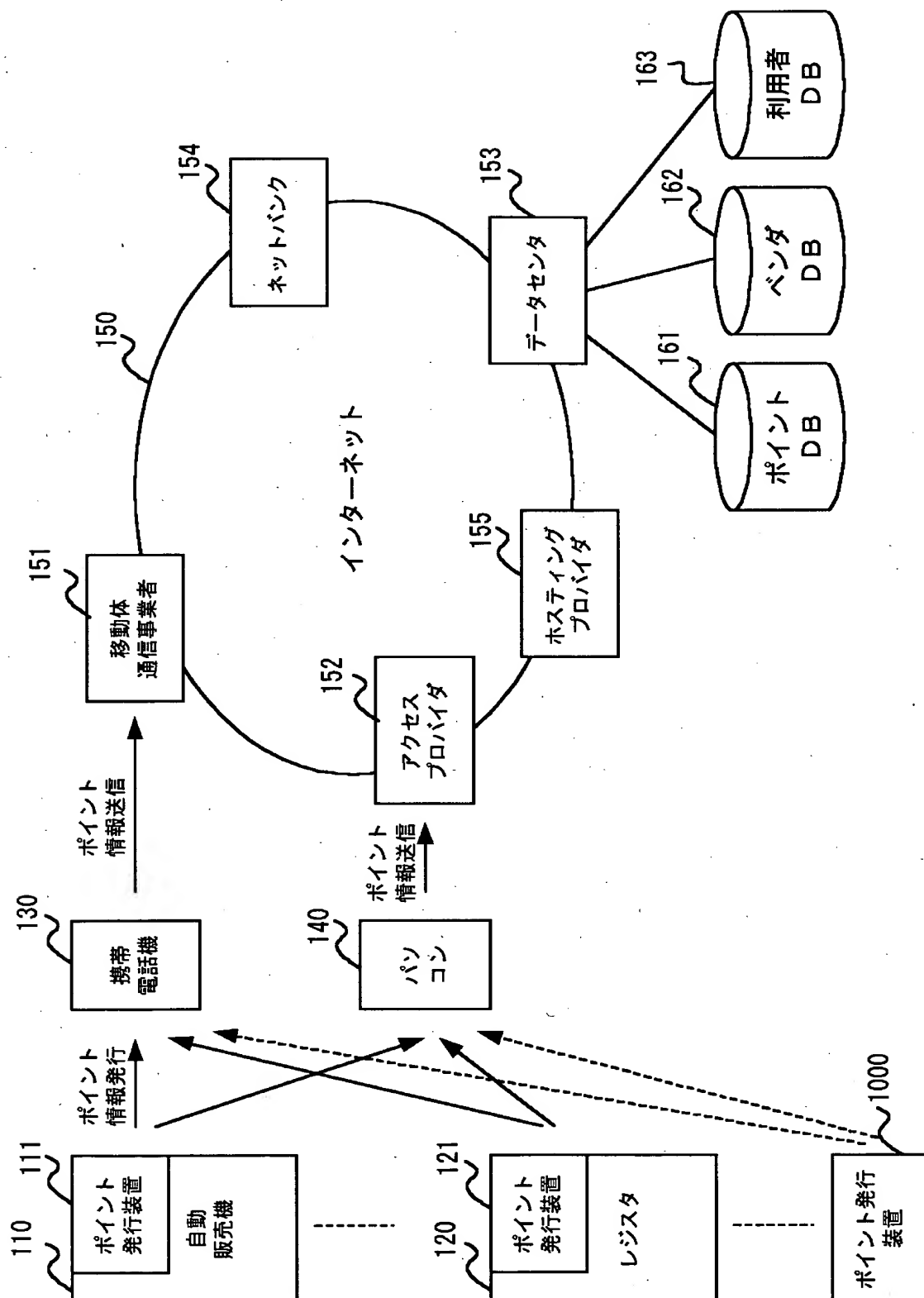
【符号の説明】

- 1 1 主制御部
- 1 2 ポイント情報生成部
- 1 3 ポイント情報表示部
- 1 4 キーボード端末部
- 1 5 硬貨処理部
- 1 6 紙幣処理部
- 1 7 商品搬送部
- 1 8 コラム
- 3 1 ネットワーク処理部
- 3 2 データ処理部
- 3 3 音声処理部
- 3 4 ポイント確認部
- 3 5 ポイント処理部
- 3 6 ポイント記憶部
- 3 7 特定商品コード記憶部
- 1 1 0 自動販売機

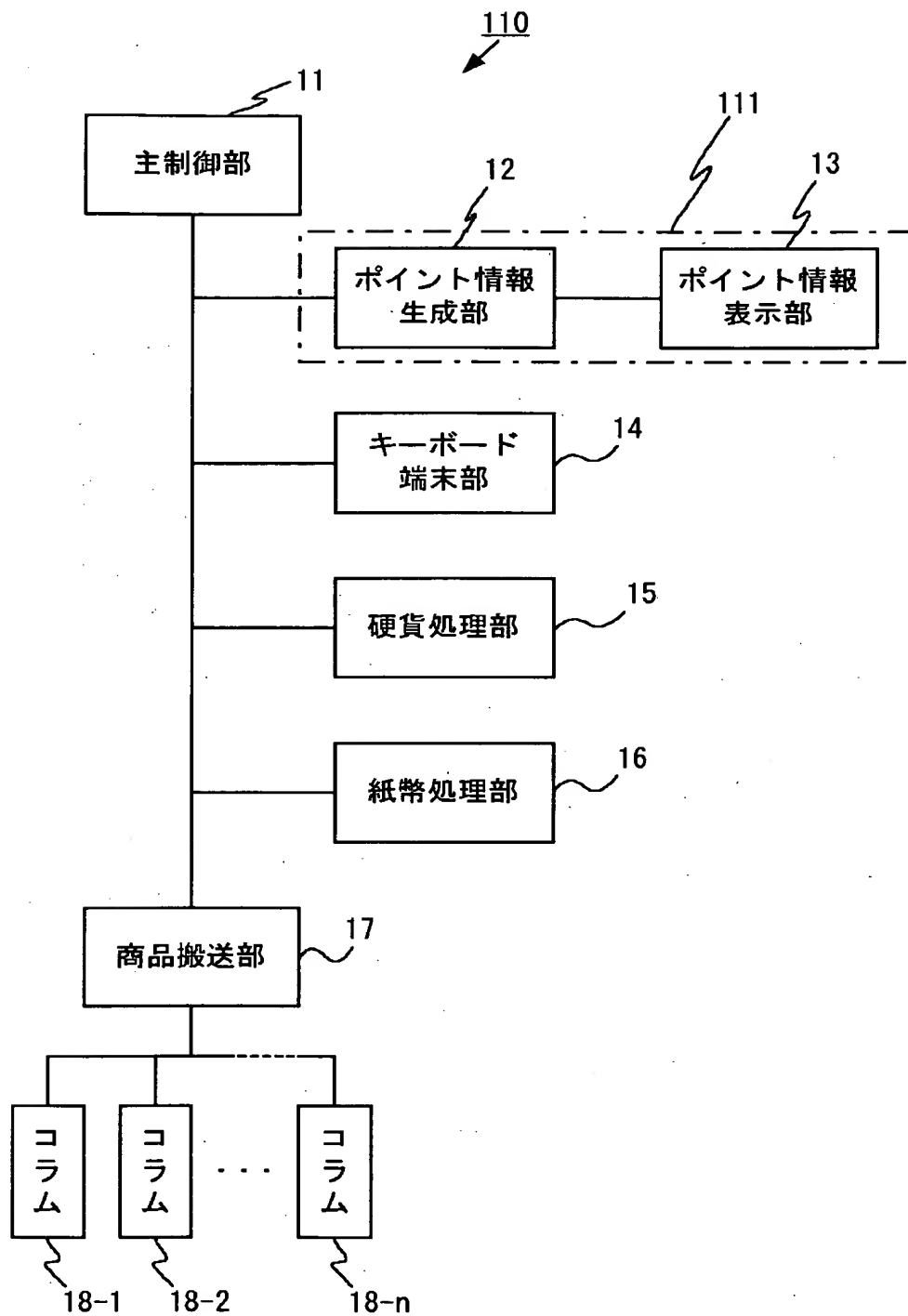
- 1 1 1 ポイント発行装置
- 1 2 0 レジスタ
- 1 2 1 ポイント発行装置
- 1 3 0 携帯電話機
- 1 4 0 パソコン
- 1 5 0 インターネット
- 1 5 1 移動体通信事業者
- 1 5 2 アクセスプロバイダ
- 1 5 3 データセンタ
- 1 5 4 ネットバンク
- 1 5 5 ホスティングプロバイダ
- 1 6 1 ポイントデータベース
- 1 6 2 ベンダデータベース
- 1 6 3 利用者データベース
- 1 0 0 0 ポイント発行装置

【書類名】 図面

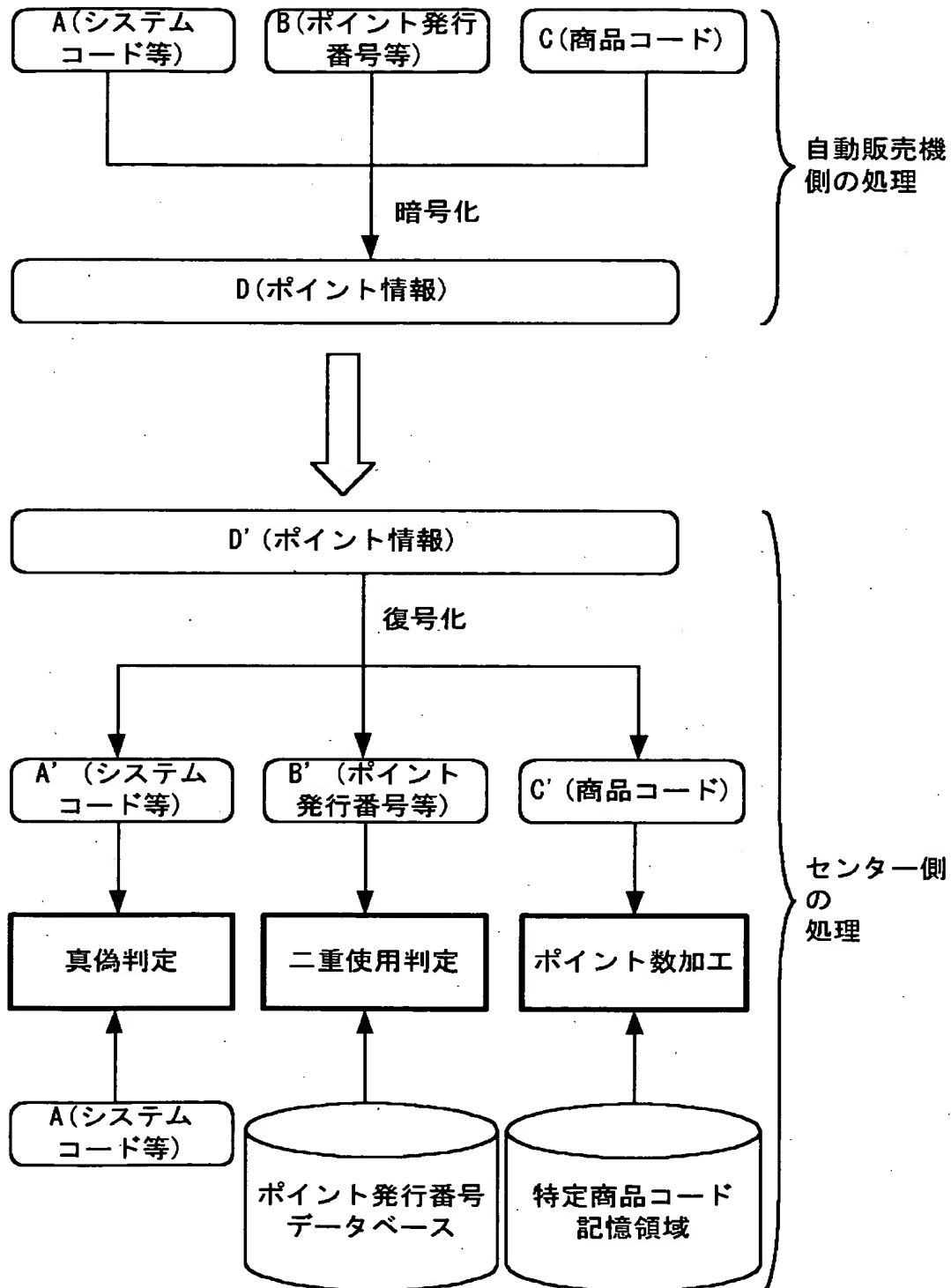
【図 1】



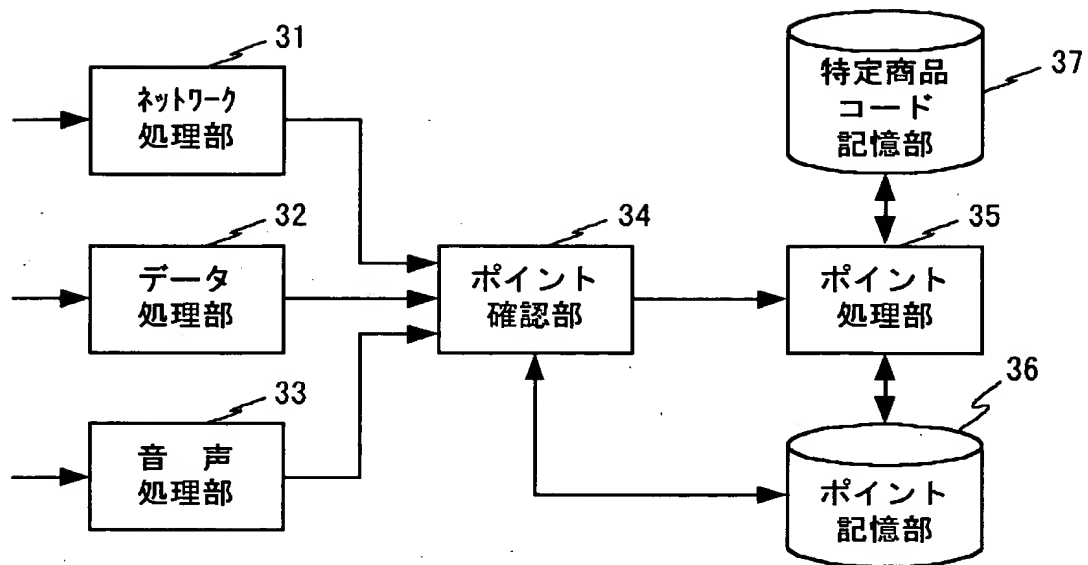
【図 2】



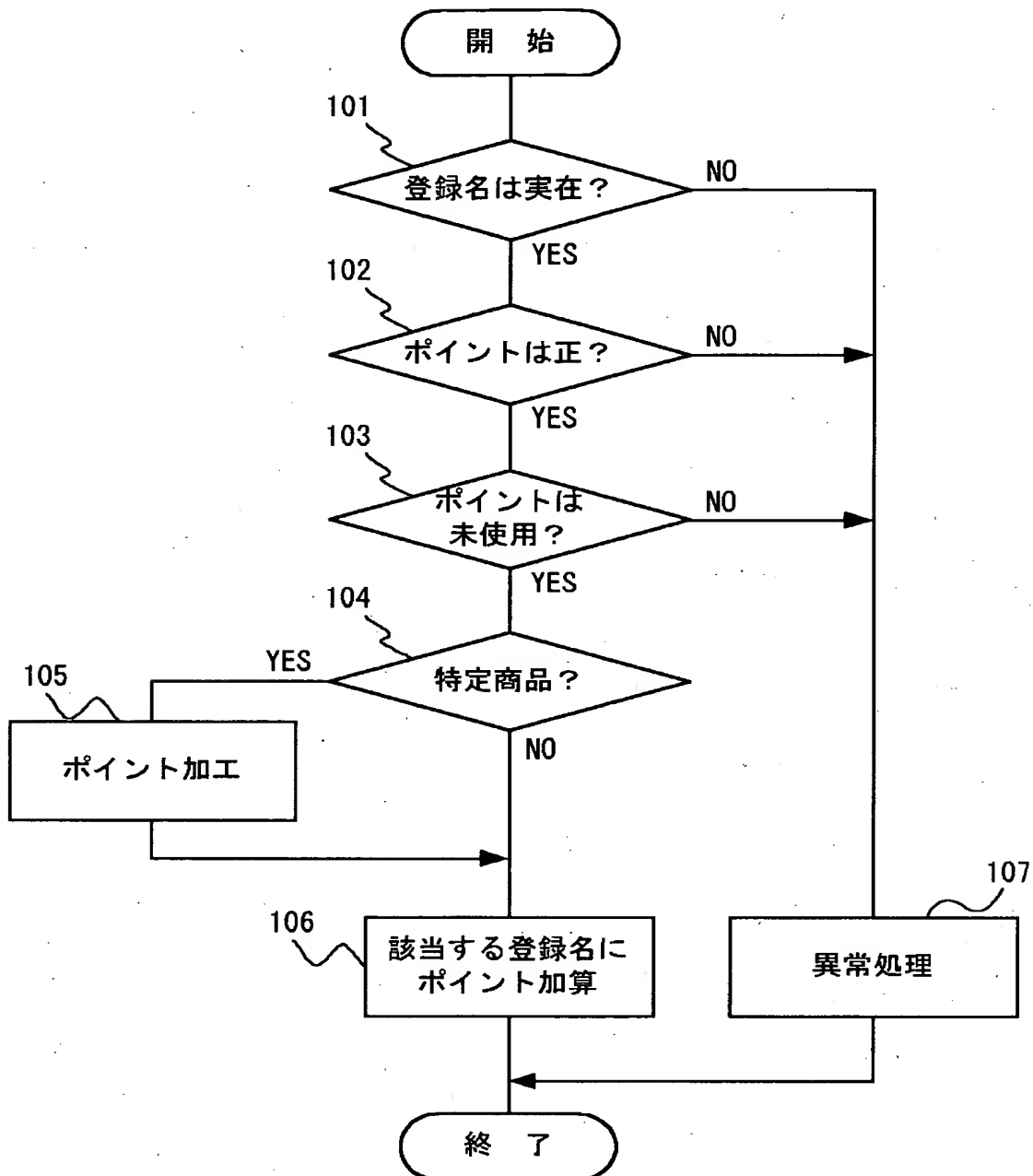
【図 3】



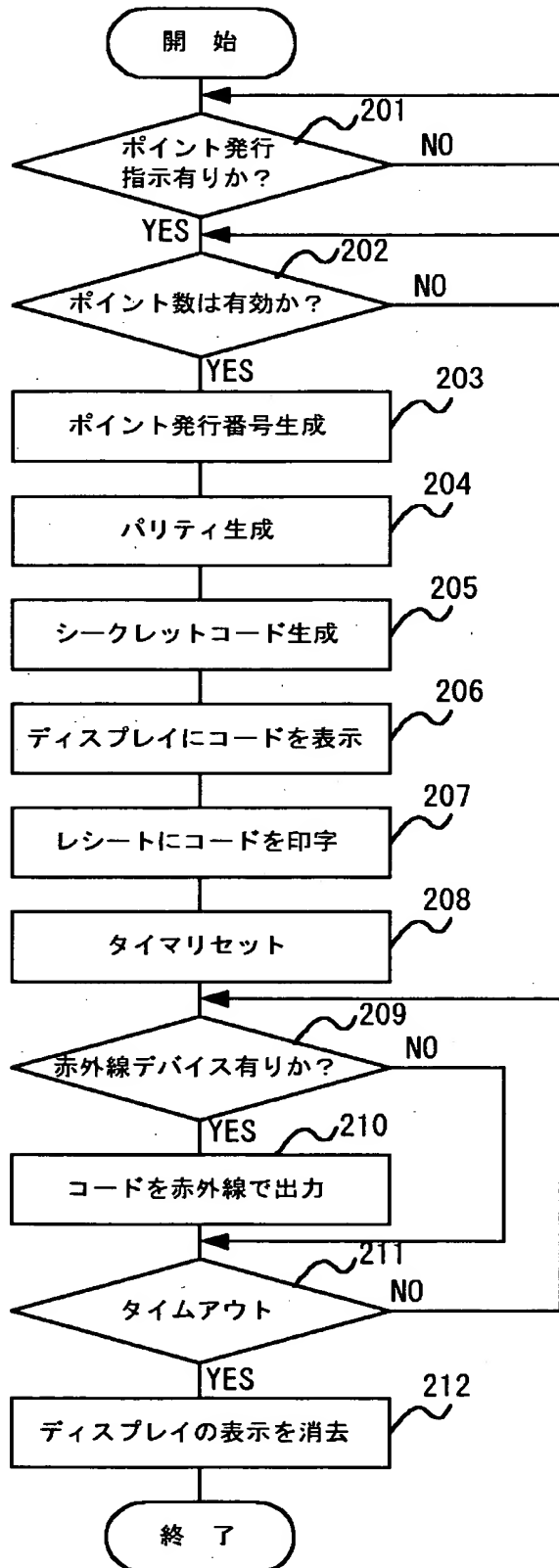
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 対象となる自動販売機の設定を一斉に変更する必要なく、商品単位の発行ポイント数、プロモーション期間等の設定の変更を容易に行なえるようにして、きめの細かいプロモーションを実現できるようにしたプロモーション方法およびシステムを提供する。

【解決手段】 ポイント情報に商品固有の商品コードを付加し、データセンタ 153 は、この商品コードに基づいて特定商品のポイント情報のポイント数を選択的に加算処理する。

【選択図】 図 3

認 定 ・ 付 加 情 報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 3 2 1 0 9 2
受付番号	5 0 0 0 1 3 5 9 9 1 6
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 2 年 1 0 月 2 3 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成12年10月20日
-------	-------------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000152859]

1. 変更年月日 1990年 8月24日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都千代田区内幸町2丁目2番2号
氏 名 株式会社日本コンラックス